

令和 6 年度仙南地区災害対応研修会で講師を務めました (2024/7/13)

テーマ：避難所運営、令和 6 年能登半島地震
場 所：みやぎ県南中核病院（宮城県大河原町）

2024 年 7 月 13 日（土）、宮城県大河原町のみやぎ県南中核病院で令和 6 年度仙南地区災害対応研修会が開催され、佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野）が避難所運営実習の講師を務めました。

仙南地区災害対応研修会は、宮城県仙南地域災害医療コーディネーター武藤満完医師（みやぎ県南中核病院外科主任部長）及び仙南保健所が中心となって運営する、仙南地域 2 市 7 町（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）の行政職員を対象とした災害対応研修会です。当日は各市町入職 5 年以内の行政職員 17 名が受講し、みやぎ県南中核病院、仙南保健所などから関係者 15 名が運営に携わりました。

はじめに、仙南保健所西條尚男所長が挨拶し、2019 年 10 月の台風 19 号時に被災した仙南地区の状況及び平時からの備えの大切さについて説明しました。また、令和 6 年能登半島地震に災害支援ナースとして派遣されたみやぎ県南中核病院奥山亜希子看護師長、DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）メンバーとして派遣された仙南保健所和泉主幹から、被災地避難所での活動や課題について報告がなされました。

つづいて、「避難所運営ゲーム（HUG）」実習が行われました。避難所運営にまつわる様々な課題を、運営主体者の立場で考える机上演習です。研修に参加した若手行政職員らは実災害時の避難所運営に関与した経験がほとんどなく、避難所で次々と発生する課題対応に追われ、避難所での混乱、緊張・対立をまさに実体験のように経験しました。各自持参した市町避難所運営マニュアルの点検も行い、マニュアルに未記載の項目、他自治体マニュアルの良い点などについても議論を深めました。

社会の災害対応力向上にはそれを実践できる人材育成、知識の普及啓発が不可欠です。当研究所ではこのような実践的活動を支援して参ります。



西條尚男仙南保健所長



武藤満完外科主任部長



奥山亜希子看護師長



避難所レイアウトについて
討議を重ねる受講者



他グループの避難所運営体制
について意見交換



会場全体の様子